

I 石川県の最近の経済動向

1 概況 — 持ち直しの動きが弱まる状況から脱しつつある。

(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報3月」)

【生産】

鉱工業指数(生産・総合)の動きをみると、平成23年1月は、前月比3.2%の増加で3か月連続の上昇となっています。原指数は、前年同月比14.8%の増加で14か月連続の上昇となっています。

[主要業種別1月分生産指数]

- ・一般機械は、前月比8.4%の増加で4か月連続の上昇となっており、前年同月比では50.0%の増加で14か月連続の上昇となっています。
- ・電気機械は、前月比7.7%の増加で3か月連続の上昇となっていますが、前年同月比では0.7%の減少で16か月ぶりの低下となっています。
- ・繊維は、前月比1.1%の減少で3か月ぶりの低下となっていますが、前年同月比では9.9%の増加で11か月連続の上昇となっています。
(石川県統計情報室「石川県鉱工業指数1月」)

製造業の生産は増加ペースが再び強まりつつあります。企業収益は、低水準ながら改善が続いています。また、雇用・所得は厳しさが和らいでいます。
(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報3月」)

【消費】

個人消費は、一部政策効果の減少がみられるものの、全体としては下げ止まりつつあります。

平成22年12月の県内大型小売店(百貨店+スーパー、全店)の売上高は、6か月連続で前年を下回りました。(前年比 2.6%)

平成23年1月の乗用車新車登録台数は、エコカー補助金制度の終了に伴い、5か月連続で前年を下回っています。(前年比 22.6%)

平成22年10月~12月の新設住宅着工戸数は、2期連続で前年同期を上回りました。(前年同期比13.4%)

平成22年12月の温泉宿泊客数は、2か月ぶりに前年を上回りました。(前年比5.2%)

(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報3月」、「石川県金融経済クォーター・冬」)

【雇用・賃金】

平成23年1月の有効求人倍率(季節調整値)は0.74倍となり、前月より0.08ポイント上昇しました。

新規求人数(原数値)が前年同月比で10か月連続して増加し、有効求人数が9か月連続で同比增加していることなどから、雇用失業情勢は引続き厳しい状況にありますが、持ち直しの動きが広がりつつあります。
(石川労働局「雇用失業情勢1月」)

また、平成22年12月の常用労働者1人当たりの現金給与総額(賞与等含む、従業員5人以上事業所)の動きをみると、2か月ぶりに前年を上回りました。

(石川県統計情報室「毎月勤労統計地方調査結果速報12月」)

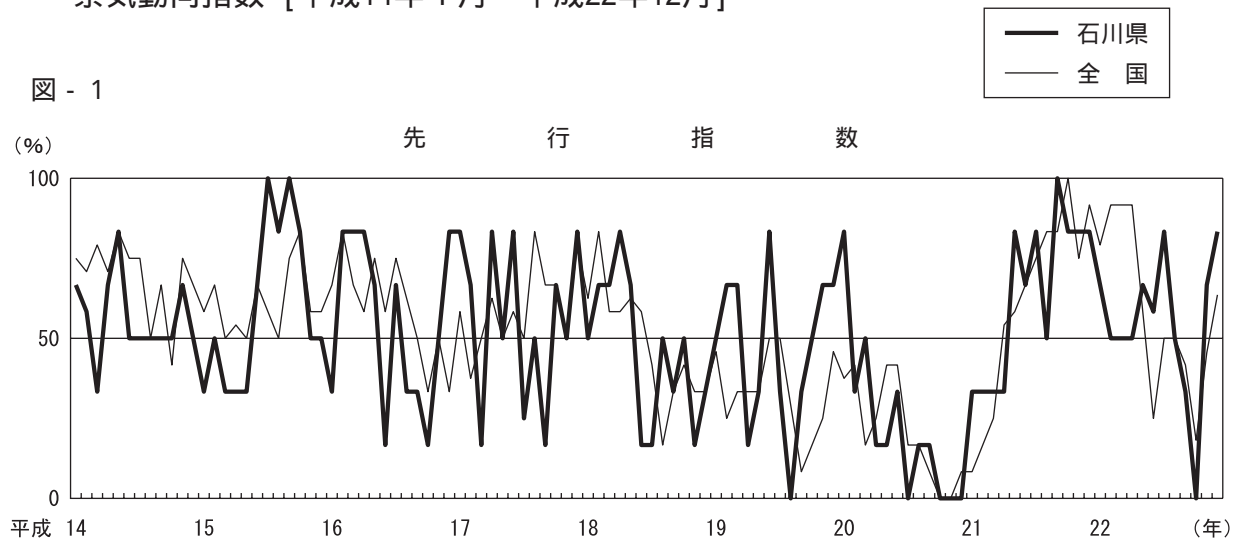
【今後の見通し】

先行きは、中国等アジアを中心とした海外需要増を背景に、持ち直しの動きが徐々に強まっていくとみられます。もっとも、海外経済の不確実性や為替相場変動、原材料価格上昇の影響について注意を要することから、慎重にみていく必要があります。
(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報3月」)

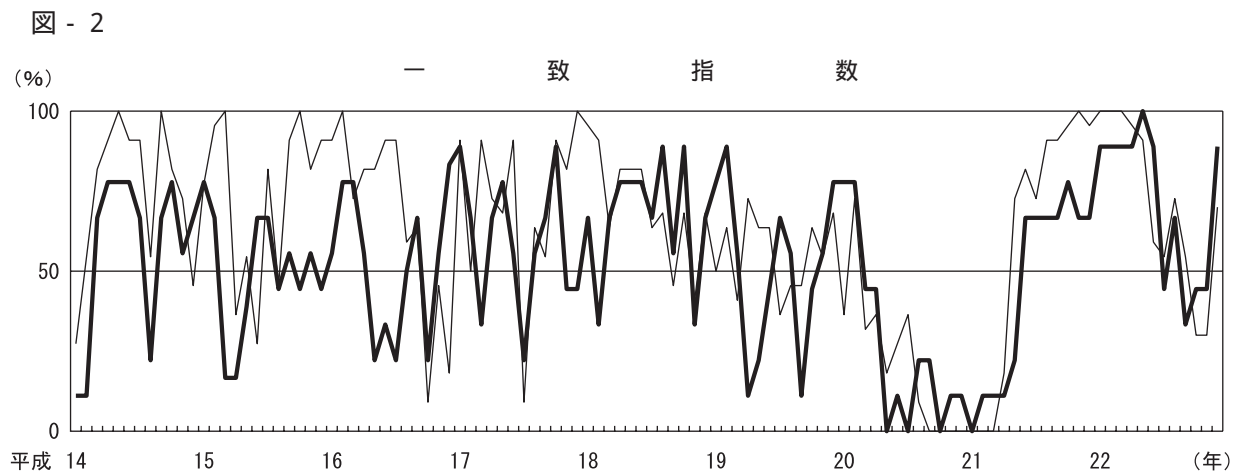
2 経済動向

2 産業別動向

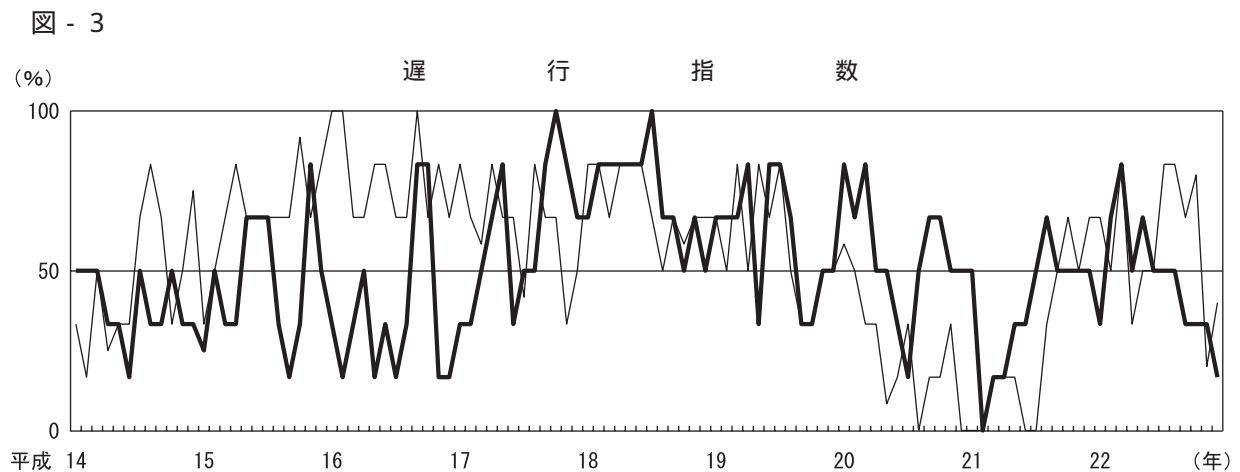
景気動向指数 [平成14年1月～平成22年12月]



・12月の先行指数は83.3%となり、2か月連続で50.0%以上となった。



・12月の一致指数は88.9%となり、4か月ぶりに50%以上となった。



・12月の遅行指数は16.7%となり、4か月連続で50.0%未満となった。

系列名		年 月		平成20年						平成21年									
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
先行系列	新設住宅着工戸数	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	-	-	+	-	-	-	+	+
	所定外労働時間	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	東証株価指数	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
	新車新規登録数	+	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	新規求人数	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	銀行貸出残高	+	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-
一致系列	有効求人倍率	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大口電力使用量	+	+	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	鉱工業生産指数(総合)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
	鉱工業生産指数(機械)	+	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
	鉱工業生産指数(繊維)	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	百貨店販売額	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	+
	温泉旅館宿泊客数	+	+	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-	-	+	+	-	-	-
	単位労働コスト	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-
	建築着工床面積	+	+	-	-	-	+	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+
遅行系列	不渡手形発生率	+	-	-	-	+	+	-	-	+	+	+	-	+	-	+	+	+	-
	雇用指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+
	賃金指数	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+
	貸出約定平均金利	+	+	+	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用保険受給者数	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業倉庫在庫高	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+	-	-	-	-	-

系列名		年 月		平成21年						平成22年									
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
先行系列	新設住宅着工戸数	+	-	+	-	+	+	+	-	-	-	+	0	+	-	+	-	+	+
	所定外労働時間	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	東証株価指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+
	新車新規登録数	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-
	新規求人数	-	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	+	+
	銀行貸出残高	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	+
一致系列	有効求人倍率	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	大口電力使用量	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	+
	鉱工業生産指数(総合)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	-	-	+
	鉱工業生産指数(機械)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	鉱工業生産指数(繊維)	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
	百貨店販売額	-	+	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	温泉旅館宿泊客数	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-	+	-	-	+
	単位労働コスト	+	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	-	-	+
	建築着工床面積	+	+	-	+	-	-	+	+	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-
遅行系列	不渡手形発生率	-	+	+	+	-	-	-	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	+
	雇用指数	+	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-
	賃金指数	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-
	貸出約定平均金利	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雇用保険受給者数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-
	営業倉庫在庫高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	+	-	-	-

(注) 季節変動による影響を取り除き、3か月前に比べて上がった場合は+、下がった場合は-、変動がなかった場合0で示してある。

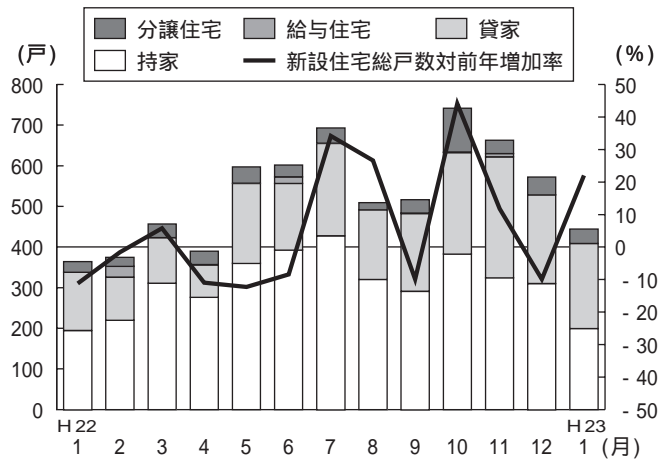
最近の各産業等の状況

織 維	<p>衣料品：定番品では国内需要の低迷と海外製品との競合により減少が続いているが、高付加価値品では一部で国内生産回帰の動きもあって、スポーツウェア、ダウンジャケット、ユニフォーム等を中心に増加傾向にあるため、全体では低水準ながら幾分持ち直している。</p> <p>非衣料品：自動車関連資材において、海外向けは好調ながら国内向けが政策効果剥落の影響で減少していることを背景に、全体でも幾分弱含んでいる。 <small>(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・3月」)</small> 石川県鉱工業生産指数(1月：原指数69.0) = (前年同月比9.9%)</p>
電気機械	<p>電子部品：中国等アジア向け一部製品(液晶テレビ、パソコン等)の在庫調整が進捗してきているほか、海外向けを中心としたスマートフォン関連の引き合いも強まっていることを背景に受注が復調しているため、横ばい圏内の動きから脱しつつある。</p> <p>その他：サーバーは、官公庁向けを中心に持ち直している。電源装置は、為替円高等によるアジア向け(通信機器・半導体製造装置向け等)の輸出鈍化から横ばい圏内で推移している。ディスプレイは、法人・個人向けともに需要が弱く、低水準横ばいで推移している。 <small>(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・3月」)</small> 石川県鉱工業生産指数(1月：原指数181.8) = (前年同月比 0.7%)</p>
一般機械	<p>建設機械：インドネシア・中南米等の新興国向け輸出の増加を背景に、着実に持ち直す動きが続いている。</p> <p>繊維機械：中国向けの輸出増を背景に増加している。</p> <p>工作機械：一部で為替円高の影響を指摘する声もあるが、全体としては、中国等アジアや欧州向けの受注増加や国内での一部更新需要を背景に、持ち直している。</p> <p>プレス機械：中国等アジア向けを中心に低水準ながら持ち直している。 <small>(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・3月」)</small> 石川県鉱工業生産指数(1月：原指数95.4) = (前年同月比50.0%)</p>
建 設	<p>住宅着工 1月の新設住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家、貸家、分譲ともに前年同月を上回ったことから、全体でも前年同月を上回っている。(図1参照) <small>(国土交通省「建築着工統計調査」)</small></p>
設	<p>公共工事 1月の公共工事請負金額は、前払金保証請負金額でみると、前年同月を上回っている。(図2参照) <small>(東日本建設業保証㈱石川支店「前払金保証取扱状況」)</small></p>

図1 新設住宅着工戸数の推移

年 月	戸 数 (戸)	総床面積 (㎡)
平成22年 1月	364	36,897
2	375	39,240
3	457	53,339
4	390	44,925
5	597	65,890
6	602	66,602
7	694	73,447
8	510	53,871
9	517	51,390
10	742	72,508
11	663	61,656
12	573	57,594
平成23年 1月	444	40,695

戸数の対前年増加率と内訳 (平成22年1月～平成23年1月)

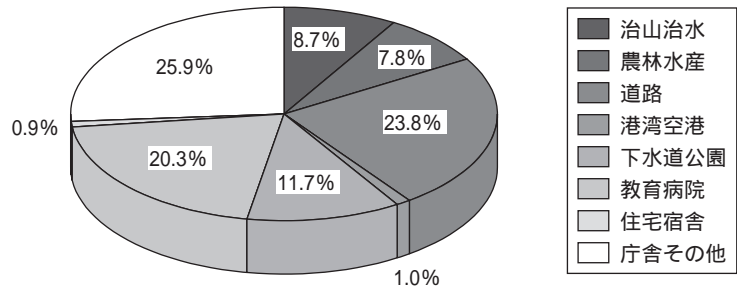


資料出所：国土交通省

図2 公共工事請負額推移

年 月	請負金額 (百万円)	前年同月比 (%)
平成22年 1月	4,353	29.1
2	4,767	20.0
3	11,628	34.0
4	12,003	55.1
5	7,148	5.6
6	11,893	13.9
7	11,308	16.0
8	12,357	4.5
9	21,681	16.1
10	9,538	23.3
11	8,856	14.2
12	7,095	0.3
平成23年 1月	6,943	59.5

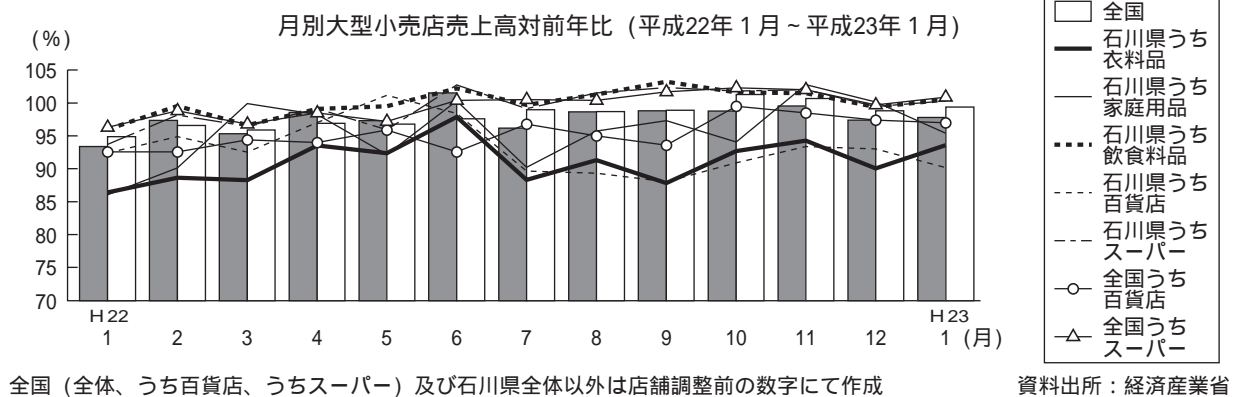
公共工事請負額内訳 (平成22年11月～平成23年1月平均)



資料出所：東日本建設業保証㈱

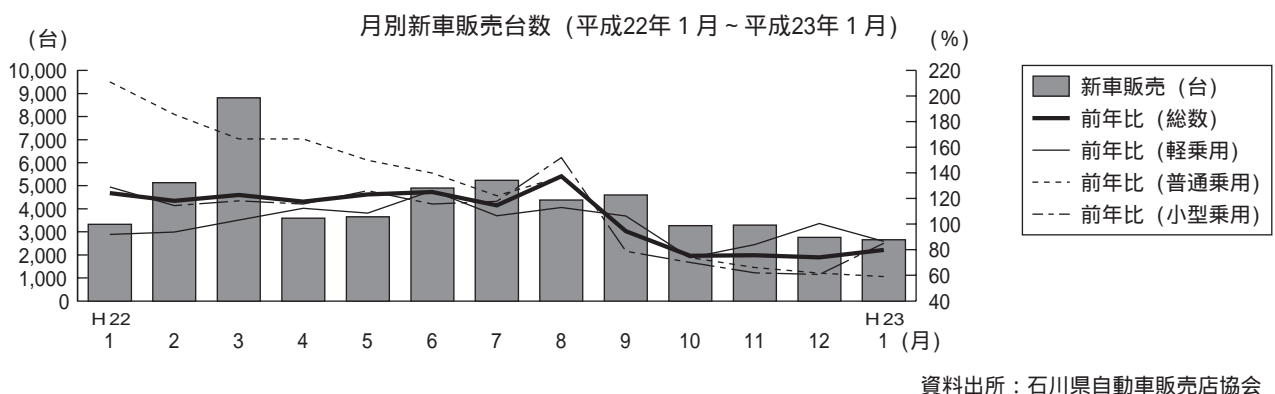
小売	大型小売店 売上高	1月の売上高は、初売り商戦が好調だったものの、下旬の大雪の影響で来店客数が減少したため、全体では小幅の前年割れとなっている。(図3参照) <small>(日本銀行金沢支店「北陸の金融経済月報・3月」)</small>
	自動車販売	1月の乗用車新車登録台数は、エコカー補助金制度の終了に伴い、5か月連続で前年を下回っている。(図4参照) <small>(日本銀行金沢支店「石川県金融経済クォーターリー・冬」)</small>
	家電販売	家電量販店販売は、エコポイント数変更に伴う駆け込み需要等により、薄型テレビやエアコン等を中心に好調となっている。 <small>(財務省北陸財務局「石川県内経済情勢・1月」)</small>

図3 月別大型小売店売上高推移



全国（全体、うち百貨店、うちスーパー）及び石川県全体以外は店舗調整前の数字にて作成

図4 月別新車販売台数推移



消費	消費者 物価指数	1月の金沢市の消費者物価指数は98.9で、総合指数が前月に比べ0.8%下落したのは、光熱・水道が0.8%、交通・通信が0.4%上昇したものの、被服及び履物が8.4%、教養娯楽が1.5%、食料が0.7%下落したことなどによる。 なお、前年同月比は1.3%の下落となった。(図5参照) <small>(石川県統計情報室「金沢市消費者物価指数」)</small>
	家計消費	1月の金沢市の勤労者世帯の家計消費支出は前年同月比実質20.2%の減少となった。(全国は1.3%減) (図6参照) <small>(石川県統計情報室「家計調査」)</small>

図5 消費者物価指数（金沢市）の推移

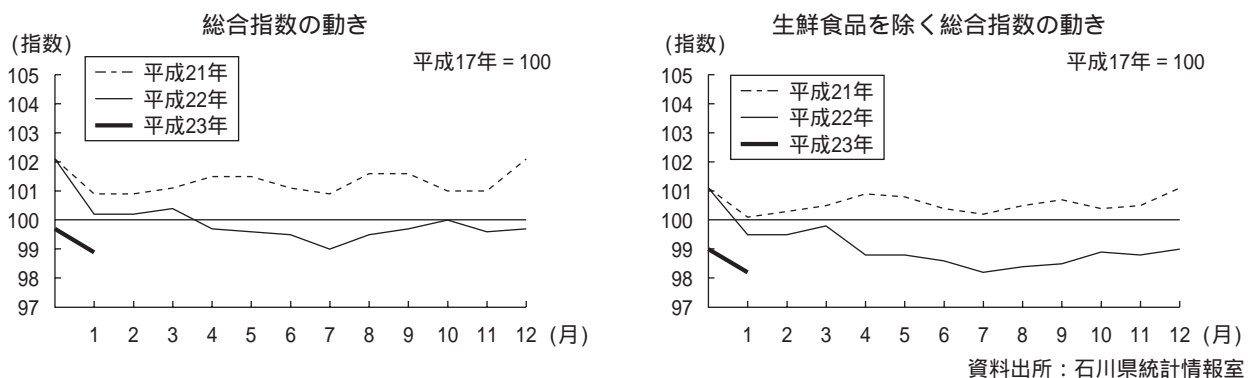
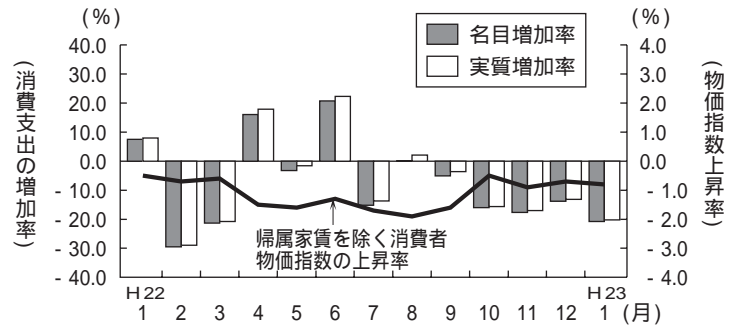


図6 消費支出と物価指数の推移

年 月	消費支出 (円) (農林漁家を含む金沢市勤労者世帯)
平成22年 1月	380,254
2	289,787
3	345,059
4	443,394
5	367,195
6	361,970
7	373,174
8	327,585
9	364,269
10	287,661
11	281,615
12	355,216
平成23年 1月	301,338

金沢市の勤労者家計消費の動き (平成22年 1月～平成23年 1月)

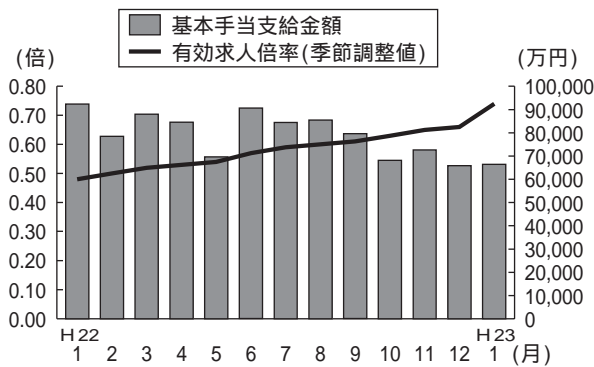


資料出所：総務省統計局他

雇 用 情 勢	有効求人倍率	1月の有効求人倍率(季節調整済)は0.74倍となり、前年1月以降13か月連続で回復傾向が続いている。(図7参照)	(石川労働局「いしかわの労働市場」)
	雇用手当受給	1月は支給人数、支給金額とも前年同月を下回っている。(図7参照)	(石川労働局)
労働力	完全失業率	石川県内の10～12月平均の完全失業率は4.2%(全国4.8%)と、前年同期に比べ0.1ポイント低下したが、15～24歳における失業率は8.2%(全国8.4%)と依然として高い傾向が続いている。(図8参照)	(石川県統計情報室「石川県労働力調査」)
労 働 情 況	賃 金	物価を反映した実質賃金指数をみると、12月は6か月連続で前年同月以上の水準となっている。(図9参照)	(石川県統計情報室「毎月勤労統計地方調査結果」)
	労働時間	製造業の所定外労働時間をみると、12月は13か月連続で前年同月を上回っている。(図9参照)	(石川県統計情報室「毎月勤労統計地方調査結果」)

図7 有効求人倍率及び基本手当支給額の推移

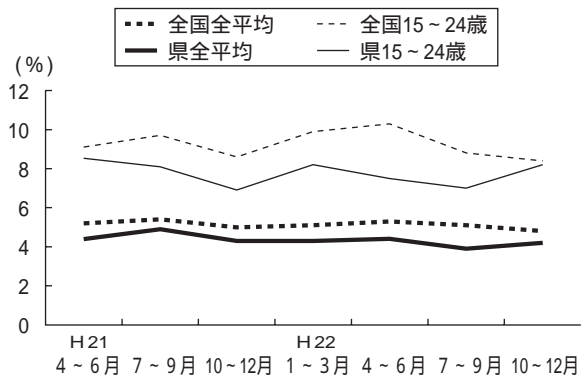
(平成22年 1月～平成23年 1月)



資料出所：石川労働局

図8 完全失業率推移

(平成21年第2四半期～平成22年第4四半期)



資料出所：石川県統計情報室

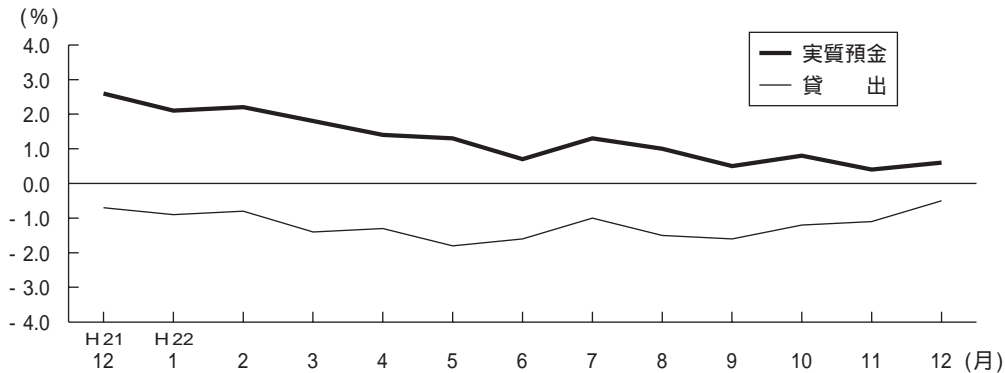
図9 賃金及び時間外労働時間の推移

年 月	実 質 賃 金 指 数	前年同月比	所定外労働時間 (製造業) (事業所規模5人以上)	
			時間	前年同月比
	H17=100	%	時間	%
平成22年 1月	76.1	4.0	10.0	35.0
2	73.9	0.7	12.2	103.2
3	74.8	1.4	14.1	139.0
4	76.9	4.1	14.1	110.6
5	74.5	2.9	12.9	95.3
6	110.8	0.3	14.2	79.6
7	111.9	7.5	15.0	70.3
8	79.3	0.0	15.5	53.4
9	75.7	4.4	14.6	41.8
10	75.2	3.7	14.8	39.5
11	79.7	0.6	16.5	36.5
12	155.5	6.6	16.2	34.9
平成23年 1月

資料出所：石川県統計情報室

観光	温泉地 宿泊状況	温泉宿泊客数は11月は前年を下回ったが、12月は前年を上回った。(12月：前年比5.2%増) (日本銀行金沢支店「石川県金融経済クォーターリー・冬」)
	旅行	旅行取扱実績は、国内旅行が団体旅行に動きがみられるほか、海外旅行が昨年の新型インフルエンザの反動もあり増加していることから、全体では好調となっている。 (財務省北陸財務局「石川県内経済情勢・1月」)
金融	預金・ 貸出残高	実質預金(末残)は、個人預金を中心に前年を上回っている。貸出金(末残)は、地公体・個人向けが前年を上回っているものの、法人向けが低調であることから、全体では前年を下回っている。(図10参照) (日本銀行金沢支店「石川県金融経済クォーターリー・冬」)

図10 預金・貸出金残高前年比推移(平成21年12月～平成22年12月)

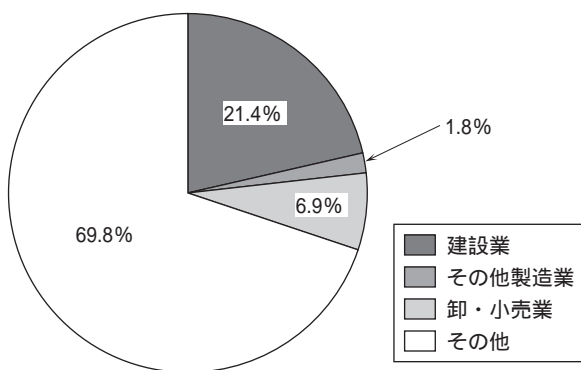


資料出所：日本銀行金沢支店

企業倒産	11～1月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)をみると、件数、負債総額ともに前年同期を下回った。(図11参照) (日本銀行金沢支店「石川県金融経済クォーターリー・冬」)
------	---

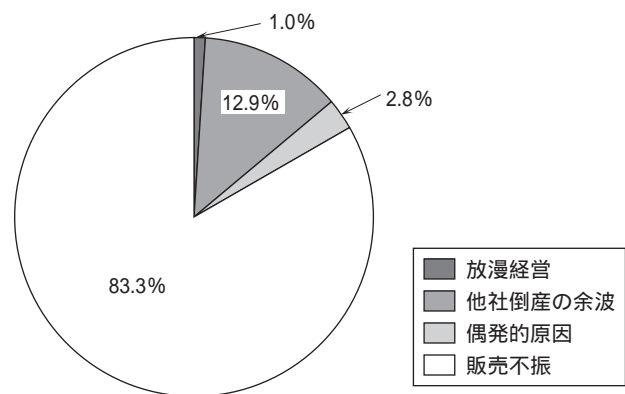
図11 県内企業倒産状況(平成22年11月～平成23年1月平均)

図11-A 業種別内訳



負債総額ベースで作成

図11-B 原因別内訳



資料出所：(株)東京商工リサーチ金沢支店